

HTML TIPS & TRICKS

第6回

誰よりも早く 最新のHTMLを使ってみよう

古澤祐治 白畑真

待望のインターネットエクスプローラ4.0がついに姿を現した。このコーナーの読者にとって最も気になるのが、新しく実装されたHTMLだろう。そして、期待どおり「ダイナミックHTML」という強力なタグが登場した。ホームページにインタラクティブな仕掛けを作れるこの最新のHTMLはもちろん、今月も必ず役に立つTIPSとTRICKSを満載でお届けする。

このコーナーを楽しむために

最新のHTMLを使う際に、どうしても避けて通れないのがWWWブラウザの互換性の問題だ。そこでこのコーナーでは、TIPSごとにブラウザの対応状況をアイコンで表している(5月10日現在)。これを参考に、使用するWWWブラウザを選んでほしい。



インターネットエクスプローラ3.0以上



インターネットエクスプローラ4.0以上



ネットスケープナビゲーター3.0以上



ネットスケープナビゲーター4.0(PR4)以上



6月号「HTMLパズルに挑戦しよう」の解答

一見、簡単そうに見えた先月号のパズルは、実は誰もが見落としがちなブラックホールだったようだ。チャレンジャーの皆さんにいつもの切れがなかったような気がする。HTMLの奥の深さを改めて感じた。それでは6月号“フレームを制する”の解答を発表しよう。

ANSWER ① マウスを載せたらON AIR!

ActiveXコントロールを使わずにAVIビデオをインラインで表示させる方法はいくつかあるが、このパズルの条件にあるような動作を指定するためには、を使う必要がある。正解は、

```
<IMG DYN SRC="Puzzle.avi" start=mouseover>
```

となる。ポイントは「start=mouseover」の部分だ。これで「マウスを載せたら動画が再生する」という指定ができるわけだ。

ANSWER ② 5回だけループさせろ!

インライン表示の方法はANSWER 1とまったく同じだ。今度は繰り返して再生するためのオプションが必要になる。正解は、

```
<IMG DYN SRC="Puzzle.avi" loop=5>
```

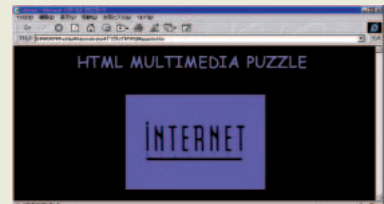
となる。ヒントにあった「loop」がそのまま解答だった。そして、loopの値が繰り返しの回数になるのだ。

ANSWER ③ 5秒おきに3回再生させろ!

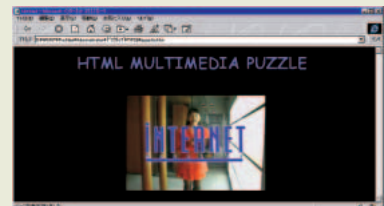
ビデオの表示のさせ方も、繰り返し再生の指定もできた。次は、ループの間隔を指定する。正解は、

```
<IMG DYN SRC="Puzzle.avi" loop=5 loopdelay=5000>
```

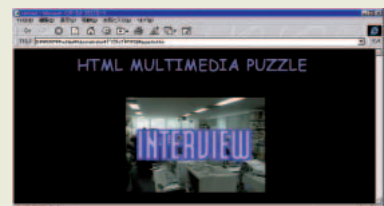
となる。ループの間隔は「loopdelay」で指定する。そして、ヒントにあったように時間はミリ秒単位で指定するから「5000」となる。これで完璧だ。



ANSWER 1 正解者の方々：佐藤義和さん、佐野善和さん、Kunio Yamamotoさん

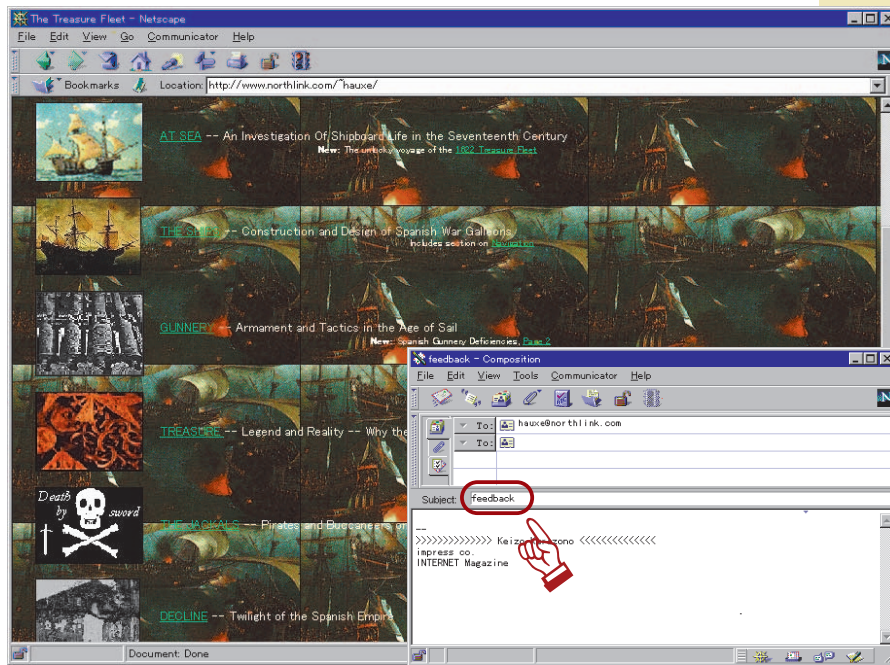


ANSWER 2 正解者の方々：佐藤義和さん、佐野善和さん、Kunio Yamamotoさん



ANSWER 3 正解者の方々：佐藤義和さん、佐野善和さん、Kunio Yamamotoさん

■ サブジェクトを自動入力する



URL <http://www.northlink.com/~hauxe/>



ホームページを作成したら、これを見た人の反応が気になる。そこで、自分のメールアドレスにリンクを張って、ユーザーがクリックすると電子メールソフトが起動して簡単にメールを送信できるように仕掛けを作るはずだ。ただし、このように送られてきたメールの用件の部分は、空白かユーザーごとに異なったものになっているはずだ。これではフィルターを使って感想のメールを振り分けるといったことができない。もし、用件に何を入れるかを設定できれば、メールの管理は画期的に楽になるはずだ。それでは、今月の第一弾、ウェブマスター必見の「サブジェクト自動入力設定法」を紹介しよう。



```
<A HREF="mailto:ip-cdrom@impress.co.jp?subject=HTML TIPS & TRICKS">
```

```
ip-cdrom@impress.co.jp
```

```
</A>
```

POINT

このコーナーを毎月読んでくれている読者の方々なら、おそらくJavaScriptが何かを使うのだろうと予想したはずだ。ところが、こんな簡単なHTMLだけで用件が自動的に入力されるのだ。それでは内容を見てみよう。

```
<A HREF="mailto:ip-cdrom@impress.co.jp
```

<A>タグは説明するまでもなく、文字や画像にリンクを設定するためのHTMLだ。このあとに「mailto:」に続けてメールアドレスを記入する。これで、<A> で囲まれた文字をクリックすると通常使っているメールソフトが起動して、新規メール作成ウィンドウが現れる。ユーザーは本文を書いて、送信ボタンを押すだけで簡単にメールの送信ができるわけだ。ポイントは次の

```
?subject=HTML TIPS & TRICKS"
```

の部分にある。「?subject=」に続けて用件の欄に入力したい文字を書いておく。これで、ユーザーが文字列をクリックしてメールソフトが起動した際に、用件の欄には「?subject=」のあとの文字が自動的に入力されるのだ。もちろん、この用件の部分に日本語を指定しても構わない。ただし、自分の使っているメールソフトが用件を日本語で表示できるかどうかは確認しておこう。世界中の人々が見る可能性のあるウェブページなら、英語で書いておくほうが無難だろう。あとは、メールソフトのフィルターや振り分けなどの設定をすればできあがりだ。今すぐに、自分のホームページの「mailto:」に「?subject」の1行を追加しよう。あとは、たくさんのメールが届くように、ページを演出するだけだ。

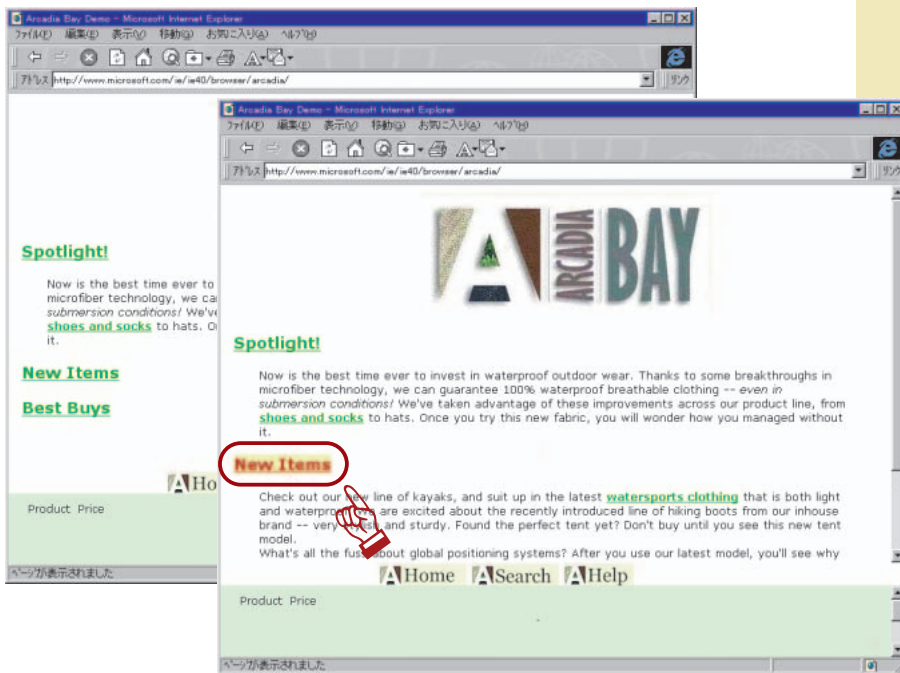
この機能が使えないソフトもある

ナビゲータとメッセンジャー（ネットスケープメール）の組み合わせや、エクスプローラとインターネットメールの組み合わせなら問題なく使えるが、残念ながら、一部のメールソフトに用件の自動入力に対応していないものがある。用件の欄が空白のメールが送られてくる可能性もあるが、驚かないでほしい。メールのリンクをクリックした場合、特別な設定をしていない限りWWWブラウザに付属のメールソフトが起動する。上記の組み合わせが、WWWブラウザのシェアの90パーセントを超えることを考えれば、ほぼ問題なく使えるはずだ。

ダイナミックHTMLを使う



4.0



エクスプローラ4.0の登場で、HTMLの世界はまた新たな世代に突入した。まずは、左の図を見てほしい。「Spotlight!」、「New Items」などの項目があり、リンクが設定されているように見える。通常ならこれをクリックすると、内容にあたるページにジャンプするはずだ。ところが、このページでは図のように、同じページ内に新たな文書が現れるのだ。さらに、マウスカーソルを載せた瞬間に、文字の色と背景色が変わる。これがダイナミックHTMLの正体だ。HTMLだけで、ページを切り替えることなくその内容を動的に変化させる。それでは、今月の目玉、ダイナミックHTMLを紹介しよう。

URL <http://www.microsoft.com/ie/ie40/browser/arcadia/>



```
<SPAN onmouseover="this.style.backgroundColor="#FFFC6"
onmouseout="this.style.backgroundColor="white">
文字列
</SPAN>
```

POINT

これまで、ページに動的な仕掛けを作るにはJavaアプレットやActiveXコントロールを使う必要があった。これをHTMLだけで実現しようというのが、ダイナミックHTMLだ。これは、基本的にカスケーディングスタイルシートを拡張した仕様と考えてよい。それでは内容を見てみよう。

```
<SPAN onmouseover="
this.style.backgroundColor="#FFFC6"
```

最初のタグは、文章の一部分だけにスタイルを定義する際に使うが、ここでもまったく同じ役割を果たしている。「onmouseover」は「マウスカーソルを載せたら」という意味だ。次の「this.style」はセットで覚えよう。「~のスタイル定義を」という意味だ。そして、「~」の部分にあたるのが「backgroundColor」で、「背

景の色」を表す。このあとの値は色を表すRGB値だから、「タグで囲まれた文字列にマウスカーソルを載せたら背景の色がFFFC6に変わる」という仕掛けを定義したことになるわけだ。次は、

```
onmouseout="
this.style.backgroundColor="white">
```

の部分だが、「onmouseout」は「マウスカーソルを文字列から離したら」を意味する。ほかの部分は前の行とまったく同じだ。この文字列にマウスカーソルを載せると背景色がFFFC6に変化し、カーソルを離すとwhiteになる。エクスプローラ4.0をセットアップしたら、すぐにこのTIPSを試してみよう。

こんなこともできる

「this.styel.」のあとのオプションを変えることで、さらに多くの動的な仕掛けができる。感動すること間違いなしだ。

this.style.color=
"色名": 文字の色

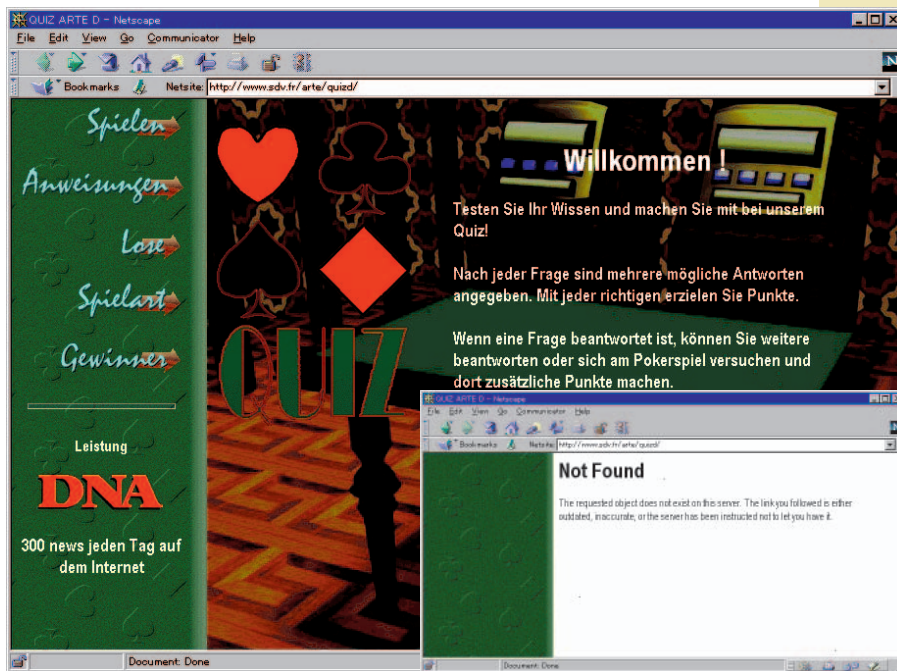
this.style.fontSize=
"ピクセル": 文字の大きさ

this.style.fontFamily=
"フォント名": フォントの種類

this.style.letterSpacing=
"ピクセル": 文字の間隔

this.style.textTransform=
"uppercase"または"lowercase":
大文字が小文字

複数のフレームの内容を一度に切り替える



URL <http://www.sdv.fr/arte/quizz/>



1

```
<SCRIPT LANGUAGE="JavaScript">
```

```
function WindowChange()
{
  parent.frames[1].location.href="link1.html";
  parent.frames[2].location.href="link2.html";
}
```

```
</SCRIPT>
```

2

```
<A HREF="JavaScript:WindowChange()">
```

```
文字列
```

```
</A>
```

POINT

フレームはJavaScriptと組み合わせることで、さらに強力な機能を持つようになる。複数のウィンドウの内容を切り替えるこのTIPSも、簡単なJavaScriptでできてしまうのだ。内容を見ていく前に、メインとなるフレームを作成しておく。

```
<FRAMESET COLS="25%,75%">
<FRAME SRC="frame1.html">
<FRAMESET ROWS="18%,82%">
  <FRAME SRC="frame2.html">
  <FRAME SRC="frame3.html">
</FRAMESET>
</FRAMESET>
```

これで、3つのフレームに分割されたページができるはずだ。「frame1.html」がメニュー用のウ

ィンドウになる。このページに上記のタグを記入する。まず、上のタグ①を<HEAD> </HEAD>の間に記述する。内容を見てみよう。

```
function WindowChange()
{
  parent.frames[1].location.href="link1.html";
  parent.frames[2].location.href="link2.html";
}
```

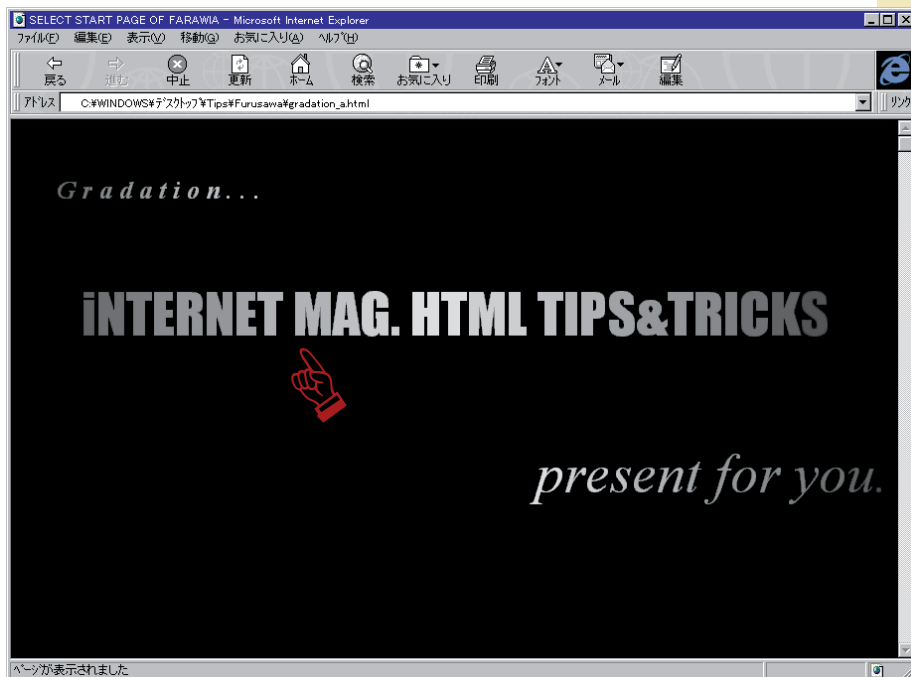
「function」というキーワードを使って「WindowChange()」というふるまいを定義している。これはHTMLの中でいつでも呼び出して使えるもので、名前も自由に付けてよい。このWindowChange()が呼び出されると何が起るかが()に書かれている。「parent.frames[]」は、<FRAME>タグで定義されたそれぞれのフレームに対応して

おり、[]の中の数字はフレームを定義した順にふえていく。数字は[0]から始まるので、[1]は2番目に定義された「frame2.html」を表示するフレームにあたる。次に「location.href=」でWindowChange()が呼び出された際に、このフレームに表示するファイルのURLを定義している。ここでは「link1.html」が指定されている。次に上のタグ②だが、これがページを切り替えるためのリンクになる。ポイントは「JavaScript:WindowChange()」の部分だ。ここで、1で定義したWindowChange()が呼び出される。つまり、このリンクをクリックすると、2番目に定義したフレームの内容が、「frame2.html」から「link1.html」に、「frame3.html」から「link2.html」にそれぞれ切り替わる。これで完璧だ。



デザイン面でも機能面でも、やっぱりフレームは活用したい。でも、フレームには1つの欠点がある。あるリンクをクリックした際に、1つのウィンドウの内容だけしか切り替えられないのだ。それでは、左の図を見て欲しい。フランス人の作ったクイズページだ。ここにはちょっとしたいたずらが仕掛けられていて、左上のリンクをクリックすると「NOT FOUND」の表示とともに左のフレームのメニューがすべて消える。つまり、ここでは一度のクリックですべてのウィンドウの内容を切り替えているのだ。なんと、今月の第2弾、この便利なTIPSさえあればこれでできてしまうのだ。

文字にグラデーションをかける



ホームページを作成していて最初に気になるのが「バナー」と呼ばれるタイトルの部分だろう。このコーナーでもスタイルシートを使った立体文字などを紹介してきたが、ほかによく見かけるものとして、徐々に色を変える効果「グラデーション」を使ったものがある。その多くは、グラフィックソフトで作成した画像を使用している。ただし、この手のバナーは色数を多く使うために、ファイルサイズの大きな「重い画像」になりがちだ。トップページの表示が遅くなるのはなるべく避けたい。画像をまったく使わずに、きれいなグラデーションを表現する。これが、今月のTIPS第3弾だ。



```
<FONT COLOR="#E6E6E6">p</FONT>
<FONT COLOR="#DBDBDB">r</FONT>
:
<FONT COLOR="#ADADAD">n</FONT>
<FONT COLOR="#A2A2A2">t</FONT>
```

Point

グラデーションの秘密はごく普通のタグだ。使用する文字を1つ1つタグでくくって、COLORオプションでそれぞれの色を徐々に変えていけばよい。タグや<BODY>タグで背景や文字の色を指定する場合、2とおりの方法がある。1つは3月号のこのコーナーで紹介した「色名」を使うやり方、もう1つはRGB値を「16進数」で指定するやり方だ。ここでは後者の16進数を使う。それでは内容を見てみよう。

```
<FONT COLOR="#E6E6E6">
```

「#」に続く6桁の16進数が色を表している。上2桁が赤系統の値(Red)を、中2桁が緑系統の値(Green)を、下2桁が青系統の値(Blue)をそれぞれ表し、これら3つの色が混ざり合って1つ

の色を表現する。RGBという名前もここからきているのだ。さて、問題は16進数だ。10進数は0から9までの数字を使うが、16進数はこれにAからFまでの文字が加わる。つまり、9の次は10ではなくて「A」、そして、「F」の次が「10」となる。10進数の「17」が16進数の「10」だと考えると分かりやすい。RGBのそれぞれの値は16進数の2桁で表されるので、「00」から「FF」(10進数で表すと0から255)までの間ということになる。たとえば、「#FFFFFF」はすべての色要素が最大値になっていて、「White」を表す。反対に「#000000」は最小値で「Black」を表す。さて、ここまで分かったら、文字にグラデーションを付けるのは簡単だ。R・G・Bそれぞれの値を徐々に変化させて、1文字1文字を でくくればよいのだ。上記のタグでは「#E6E6E6」から「#A2A2A2」

まで変化させているが、このようにRGBの3つの値をそろえておいて、さらに3つを同じように増減させると、上図のようなモノトーンのグラデーションができていく。また、3つの値のうち、1つだけを増減させてもきれいな効果が出る。もし、16進数で値を調節するのが難しければ、いったん0から255の10進数で増減を決めておいて、後から16進数に変換してもよい。最後におまけを1つ。ナビゲーター4.0で新しく登場した「POINT-SIZE=" ">」を使って、

```
<FONT COLOR="#6B6B6B"
POINT-SIZE="32">G</FONT>
```

とすれば文字の大きさも徐々に変えられる。「SIZE=」と違って、ポイント単位でフォントサイズを自由に指定できるのだ。

HTMLパズルに挑戦しよう

隠されたトリックを解き明かせ！



今月のテーマ

背景色を制する

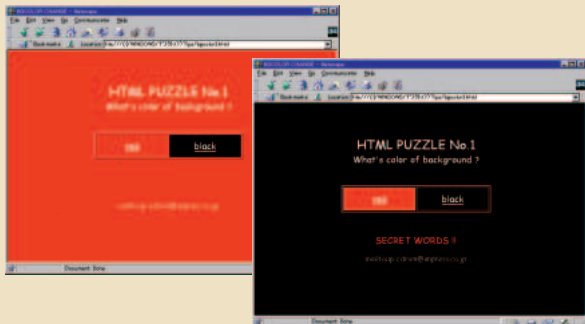
ページの背景をどうするか、画像を使うのか色を指定するのか。これは、ページ作成者にとって大きなテーマの1つだ。でも、ありきたりの演出では満足できないという人も多いはずだ。それなら、通常は静的なページの背景をもっと動的に仕上げてみてはどうだろう。そこで、今月のこのコーナーではJavaScriptを使ってダイナミックな背景色を使うというパズルに挑戦していただく。久しぶりに手応えのある問題を2問用意してみた。JavaScriptならおまかせというあなた、トリックが分かたらすぐに解答を送ってきてほしい。正解者にはダイレクトプラスを発行させていただきます。なお、正解は来月のこのコーナーで発表する。それでは頭をやわらかくして、今月のテーマ“背景色を制する”にチャレンジ！

「HTMLパズルに挑戦しよう」 宛先

正解が分かった人も、分からなかった人も、ご意見、ご感想など何でもOK、次の宛先にメールしよう。用件の欄には必ず
HTML TIPS & TRICKS
の1行を忘れずに。あなたの挑戦を待つ！

✉ ip-cdrom@impress.co.jp

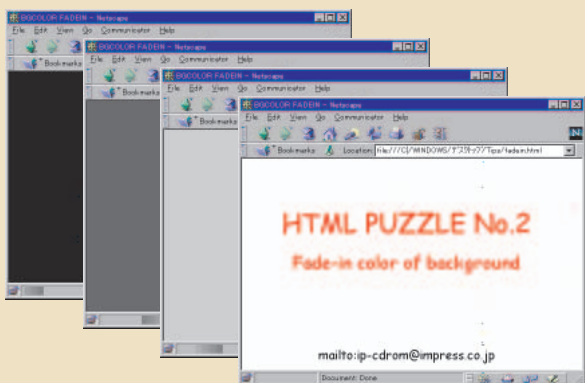
QUESTION 1 オンデマンドで背景色を変えろ！



背景の色というのは基本的に作者が決めるものだ。作者が白で作成すれば、ページを見る側は「白なんだな」とあきらめるしかない。なにを当たり前前のことを言っているんだと言われそうだが、それでは左の2つの図を見てほしい。なんと、この2つのページはまったく同じHTML、1つのファイルを表示させたものなのだ。このページでは、ユーザーが自分の好きな背景色を選ぶ。さらに、背景色と同じ色の文字列が書かれているので、色を変えるたびに別の文字が現れるといった仕掛け付きだ。まさに、オンデマンドな背景色なのだ。JavaScriptならおまかせという人もそうでない人も、がんばってこの謎を解き明かしてほしい。

ヒント JavaScriptには背景色を表すプロパティがある。これさえ使えば……

QUESTION 2 バックグラウンドをフェードインさせる！



2問目は、毎日のように新しいウェブページを探索しているという人なら一度は見たことがあるはずの、背景の「フェードイン」効果に挑戦していただく。アクセスした瞬間は真っ黒だったページがだんだん明るくなって、最後には真っ白な背景とともに文字が現れるといった演出だ。「これがやりたかったんだ」と思っていた人も多いはずだ。もちろん来月号の解答を見れば、誰にでもフェードインができるようになる。でも、1か月待つのはつらいぞ。このチャンスにパズルに挑戦して、あこがれのフェードインをものにしてはどうだろうか。答えは1つじゃない。みなさんのオリジナルスクリプトを楽しみにしている。

ヒント 16進数を思い出して、この値をだんだん大きくしていけば……



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp